

<スキルアップちゃんより御礼>

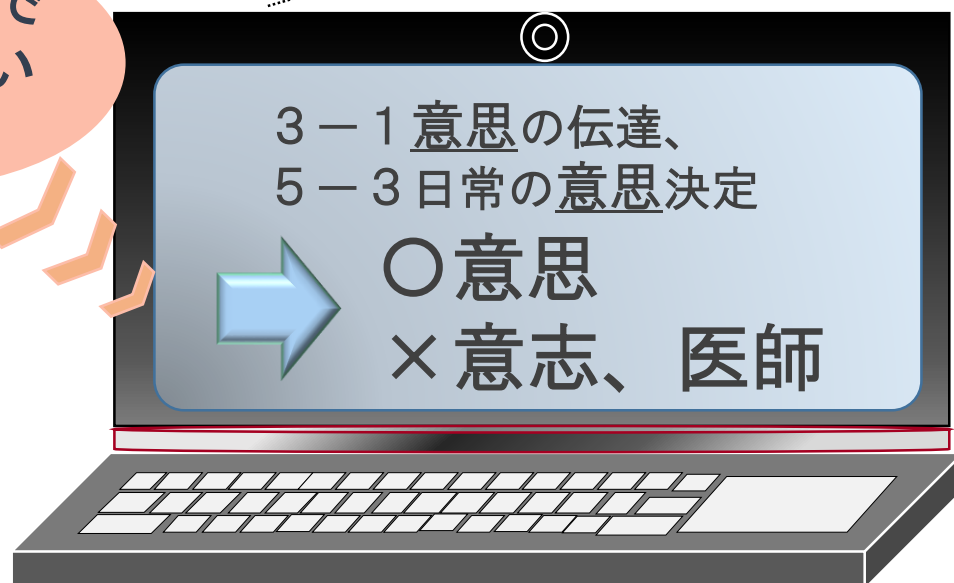
令和2年6月から令和3年1月に実施した認定調査ブラッシュアップ事業を通じ、審査会に具体的な介護の手間が伝わる特記事項がとて増えました。今後もぜひ継続してください♪



スキルアップちゃん

令和3年度は毎月、特記事項で誤りやすい変換をピックアップしてお伝えしていきます！
ぜひ参考にしてください。

特記事項で
誤りやすい
変換 ①



※ブラッシュアップ事業をご存じない方に※
認定調査ブラッシュアップ事業

とは・・・

具体的な介護の手間が伝わる特記事項を目指して、令和2年度に実施した事業。詳細は裏面参照。



チラッ



認定調査スキルアップちらし
令和3年4月号

<認定調査ブラッシュアップ事業>

以下の項目を重点項目と定め、必要な記載がされている割合の上昇を目指し、大きな改善が見られました！

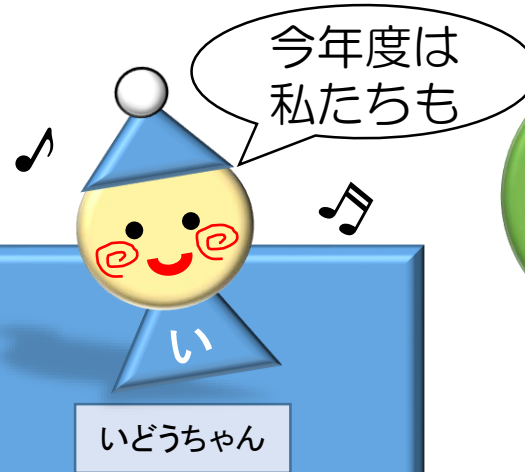
2-2 移動

必要な記載：
介助が発生している事例における、

①機会の特定

②頻度

③場面ごとの具体的な介助の方法
の3点の記載



結果：

事業実施前の記載割合

➡32.2%

事業実施後の記載割合

➡81.4%

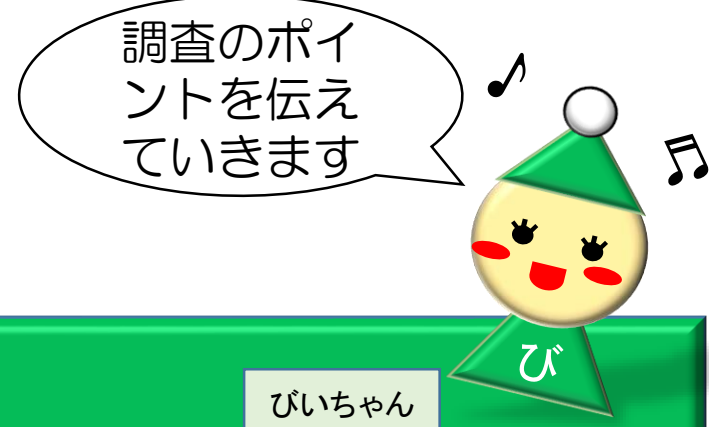
実施時期
R2.6月～9月

BPSD 関連 項目

必要な記載：

BPSD関連項目の行動が発生している事例で記載するべき、行動と頻度、介護の手間と頻度の記載のうち、

介護の手間の記載



結果：

事業実施前の記載割合

➡40.3%

事業実施後の記載割合

➡81.9%

実施時期
R2.10月～R3.1月

<スキルアップちゃんより>

今年度も「具体的な介護の手間が伝わる特記事項」を継続していきましょう。毎月このスキルアップちらしでは認定調査のポイントについてお伝えしていきたいと思っています。



令和3年度は毎月、特記事項で誤りやすい変換をピックアップしてお伝えしていきます！
ぜひ参考にしてください。

特記事項で
誤りやすい
変換 ②



裏面に「2-2移動」の聞き取りポイントを掲載しました。移動は一次判定結果に影響が出やすい項目です。テキストを確認して、定義に基づき選択してください。

認定調査スキルアップちらし
令和3年5月号

個人差が
大きい項目

<「2-2:移動」の聞き取りポイント>

※移動は日常生活に関する総合的な調査項目です。

①移動の機会の特定 ②頻度 ③場面ごとの具体的な介助の方法
この3点が書かれていることで、審査会の委員さんに介護の手間がより具体的に伝わります。

具体的
には？



にわくん

朝起きてから、夜寝るまでの1日
の流れを聞きながら、移動が
発生する場面を特定し
場面ごとの介助の方法
を聞き取ります。

+α: 軽度者の場合

・どのように移動しているか、転倒の有無(ある場合は頻度)などを確認する。

・外出時の状況を確認する。

※定義上「外出時」の移動は評価の対象に含まれない(基本調査の選択には含まれない)ものの、外出時の介助は、特に軽度者の介護の手間にかかる審査判定において議論されることが多いことから特記事項に記載する。



認定調査

スキルアップ14

<スキルアップちゃんより>

～移動の特記事項を書く時は～

①移動の機会の特定 ②頻度 ③場面ごとの具体的な介助の方法
この3点が書かれていることで、審査会の委員さんに介護の手間がより具体的に伝わります。



令和3年度は毎月、特記事項で誤りやすい変換をピックアップしてお伝えしていきます！
ぜひ参考にしてください。

特記事項で
誤りやすい
変換 ③



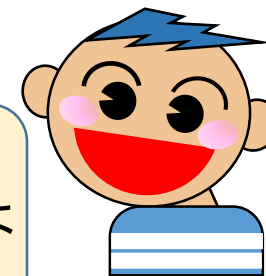
裏面に「2－2移動」について、認定調査の中から、ポイントを押さえ介護の手間がよくわかる特記事項をピックアップし、掲載しました。

認定調査スキルアップちらし
令和3年6月号

個人差が
大きい項目

<わかりやすい特記事項の例 「2-2:移動」編>

下記の文章は調査員さんが実際に認定調査の際に記載した特記事項から抜粋したものです。表面に書かれている3点のポイントの他に 内のような表現の工夫がされています。



にわくん

機会をまとめて記載

頻度を機会の後ろに () 書きしている

食事席 (3回/日) ・ トイレ (2~3回/日) ・ 洗面所 (3回/日) ・ 浴室

(2回/週) など目的の場所がわからなくなるため、職員が常に付き添い、確認・指示・声かけをしている。自室で過ごしているとき、自室内のトイレまではひとりで行けている (2~3回/日)。移動時は職員が目的の場所まで付き添い、誘導していることが多く、頻度から [2. 見守り] を選択する。

より頻回な状況から判断

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策をとりながらの認定調査は、本当に大変だと思います。このような状況でも、特記事項の充実に努めていただき、本当にありがとうございます。
更新申請の場合は、新型コロナウイルス感染拡大防止を図る観点から面接が困難である場合には、「新型コロナウイルス感染症に係る要介護認定の臨時的取り扱い」のご案内をお願いします。

認定調査は「目に見える」、「確認しうる」という事実によって調査を行うことを原則としています。



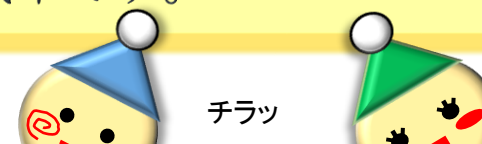
スキルアップ
ちゃん

特記事項で誤りやすい変換をピックアップしてお伝えしています！
ぜひ参考にしてください。

特記事項で
誤りやすい
変換 ④



◎ 認定調査ブラッシュアップ事業とは
具体的な介護の手間が伝わる特記事項を目指して、令和2年度から実施している事業。
過去のスキルアップチラシはNAGOAかい
ごネットに掲載中です。



チラッ

認定調査スキルアップちらし
令和3年7月号

＜認定調査ブラッシュアップ事業＞
重点項目と定め、必要な記載がされている割合の上昇を目指しています

2-2
移動

日常生活における総合的な項目です。

- ①機会の特定
- ②頻度（〇回／日）のように具体的に
- ③場面ごとの具体的な介助の方法
の3点を記載しましょう



い
いどうちゃん

BPSD
関連項目

審査会で議論
するのは介護
の手間の多少

びいちゃん

び

調査項目の選択と特記事項の視点が異なる
選択に迷う場合も多い項目です。

＜重要なのは＞
介護の手間と頻度の記載

（例）の良い点

- ① 一つの行動が複数の項目に該当する場合
はまとめて記載する
- ② 対応にかかる時間がわかる。
- ③ 対応の頻度 毎日ある場合は（〇回／日）の
方がより伝わります。

実際の特記事項から＜BPSD関連項目＞一部編集

（4-6, 7）大声を出す、介護に抵抗
食後の服薬時、周りが驚くほどの大声で拒否し、両手のこぶ
しを振り上げかんしゃくを起こす。実際に介護者を叩くことは
ないが、なだめるのに5分ほどかかる（1回／日）。20分ほ
どかかることもある（1回／週）。

BPSD関連項目 質問のポイント

① 行動が発生しているか発生していればその頻度を聞き取る。

② 具体的な対応の状況、頻度を聞き取る。

※誰が、どのくらいの頻度でどのような対応をしているかを聞き取り、特記事項に記載します。（対応にかかる時間がわかるとより具体的に手間が伝わります。）



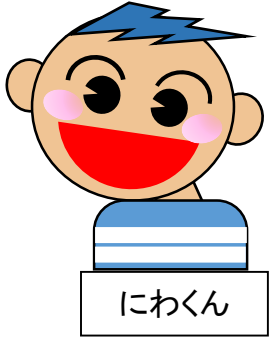
毎月、特記事項で誤りやすい変換をピックアップしてお伝えしていきます！
ぜひ参考にしてください。

特記事項で
誤りやすい
変換 ⑤



7月号にも掲載しましたが、
認定調査（概況調査）の
「家族状況」欄の選択が
必須となりました。
忘れずに✓を入れてくださ
い。（詳細は裏面をご
参照ください）

認定調査スキルアップちらし
令和3年8月号

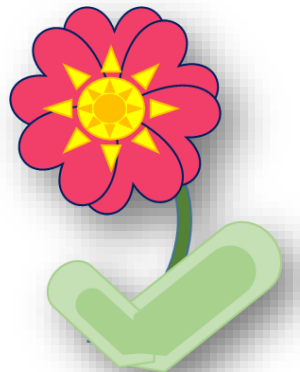


「傾聴」という言葉だけでは
介護の手間は伝わりません

- (例①) 日頃も聞いたこととは違う返答があり話はまとまらないと介護者から聞き取った。介護者は否定せず傾聴し対応している（毎日）。
- (例②) 看護師が訪室するたび同じ話を繰り返す。看護師はその都度傾聴し、話を合わせている（3回以上/日）。

上記の例のように「傾聴」という言葉がよく用いられています。相手の話に耳を傾けてしっかり聞いているという表現ですが、では、例①の傾聴と例②の傾聴は同じ対応なののでしょうか。どれくらいの時間話をきいているのか…。仕事の手を休めて話を聞いているのか…など。

「傾聴」だけでは具体的な介護の手間が見えないことがあります。誰が、どのくらいの頻度でどのような対応をしているかを聞き取り、更に対応にかかる時間もわかるとより具体的に手間が伝わります。



「2－2移動」の質問のポイント

①必要な場所への自宅内での移動の機会を特定する（頻度・活動性を把握する）。

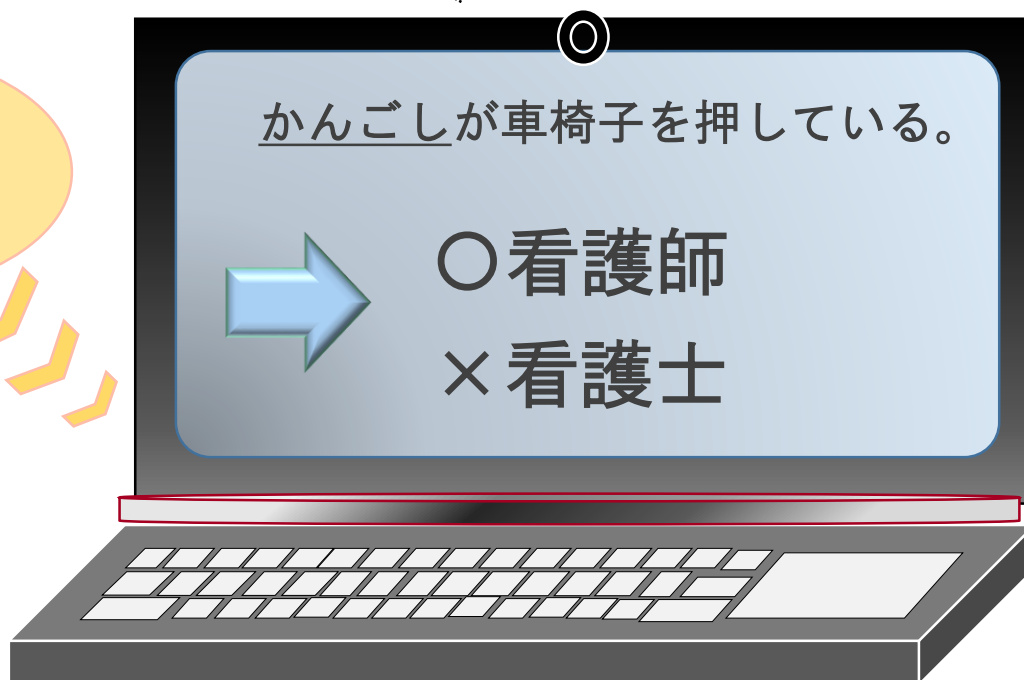
②場面ごとの具体的な介助の方法を聞き取る。

※朝起きてから、夜寝るまでの1日の流れを聞きながら、移動が発生する場面を想定し、場面ごとの介助の方法を聞き取る。



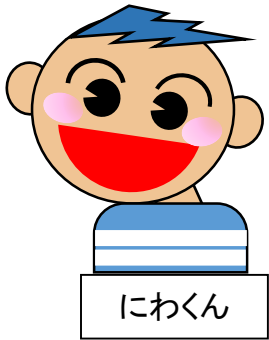
毎月、特記事項で誤りやすい変換をピックアップしてお伝えしていきます！
ぜひ参考にしてください。

特記事項で
誤りやすい
変換 ⑥



認定調査（概況調査）の
「家族状況」欄の選択が
必須となりました。
忘れずに✓を入れてくだ
さい。

認定調査スキルアップちらし
令和3年9月号



「機会の特定」「頻度」「具体的な介助の方法」
を記載することでもっとわかりやすい特記事項になります。



- 介助者が車椅子を押している。
- 車椅子にもたれて座っており、全介助で移動する



比べてみましょう♡
介護の手間が伝わっているのはどちらの特記事項？

- 看護師が車椅子を押して移動。病棟内の移動は食堂（3回/日）・トイレ（2～3回/日）・リハビリ室（2回/日）・浴室（2回/週）である。

キーワード
(移動の機会)

**トイレ、食事、洗面所、浴室、
玄関(来客)、リハビリ、検査**

(2-2) 移動は、日常生活における総合的な調査項目です。

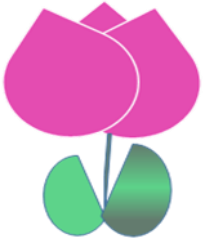
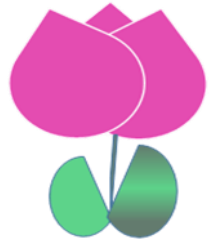
調査・特記事項のポイント

- ① キーワード(左記)を参考に移動が発生する「機会」を特定し、
- ② 具体的な介助の方法を聞き取り
- ③ 頻度(○回/日)のように記載

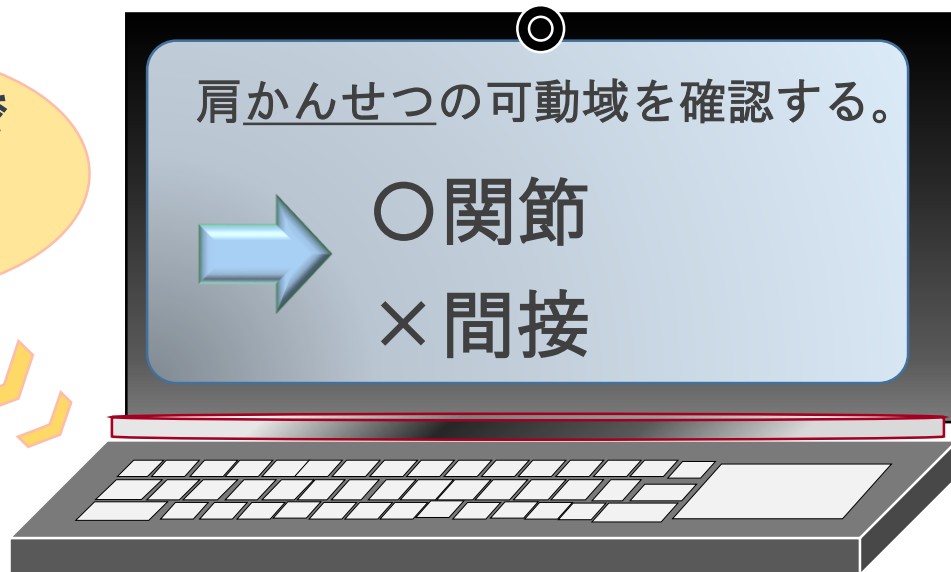
～排泄の介助～

排尿・排便は実際の介護において「個人差」があり、また、一日の中で「何度も発生する介助」であり、その結果、二次判定（介護の手間にかかる審査判定）では議論されることが多い項目です。

※詳しくは裏面をご覧ください。



特記事項で
誤りやすい
変換⑦



認定調査を受託いただき、ありがとうございます。
認定調査（概況調査）に記載されている「家族状況」欄の選択は必須となっています。
忘れずに✓を入れてください。

2-5 排泄の介助

認定事務センターで点検をされている職員さんに
点検のポイントを聞いてみました。

確認

ポイントを意識して記載すると...

点検前

(例) 排尿・排便は
トイレでしている。
たまに尿失禁をする。

- ①頻度
 - ②排泄方法
 - ③失禁の有無
 - ④昼夜の違い
 - ⑤失禁がある場合その対応
- が書かれているか確認している
とのことです。

点検後

(例) 排尿 (7回/日) ・ 排便
(毎日) 共に トイレで自己に
て排泄している。 尿失禁する
ことがあり、パットを使用し
ている。 失禁時のパット交換
(1~2回/日) は 自己にて
行っている。

わかりやすい特記事項のために・・・
すべての対象者について①～④をもれなく記載してください。

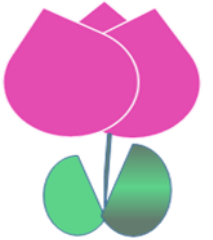
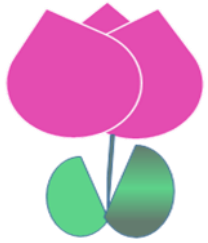


にわくん

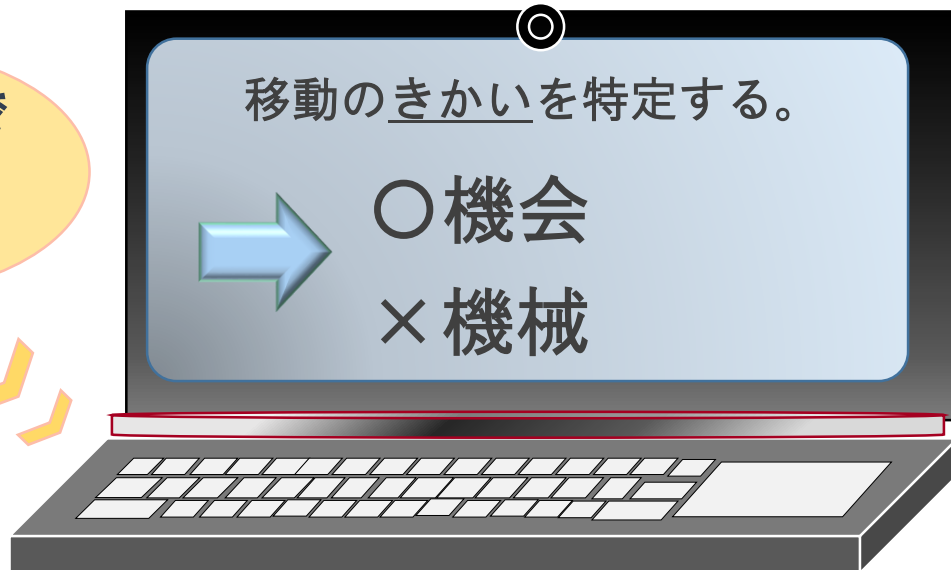


～排泄の介助～

排泄の介助の選択肢は4つしかありませんが、実際の排泄のケアは多様です。調査員の選択を補足し、その人の固有性を伝えることができるのは、特記事項への記載しかありません。軽度・重度にかかわらずすべての申請者に対して丁寧な記載を心がけてください。



特記事項で
誤りやすい
変換 ⑦



認定調査を受託いただき、ありがとうございます。
認定調査（概況調査）に記載されている「家族状況」欄の選択は必須となっています。
忘れずに✓を入れてください。

2-5 排泄の介助



認定事務センターで点検をされている
職員さんに聞いてみました



にわくん

調査員さんに特記事項の問い合わせをしたとき、「排泄」の項目で

- ①スムーズに回答できる内容
- ②回答がなかなか出てこない内容はどんなことですか？

① **頻度**や**介護の手間**については、問い合わせをするとスムーズに回答が返ってきます。

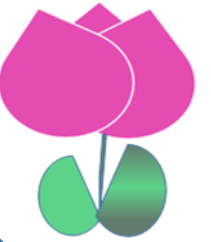
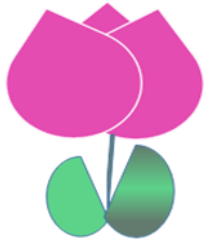
② **昼夜の違い**については、問い合わせをした時に、回答がなかなか返ってこないことがあります。

頻度や介護の手間は、調査で確認しているけど記載されていない…。
状況が異なる時の介助の方法については、調査が不十分なことがある…。 ということですね。
どちらも介護認定審査会には必要な情報です。調査の時から①排泄方法 ②頻度 ③失敗の有無と介護 ④昼夜の違い を意識しましょう。そして、特記事項に記載するようにしてください。

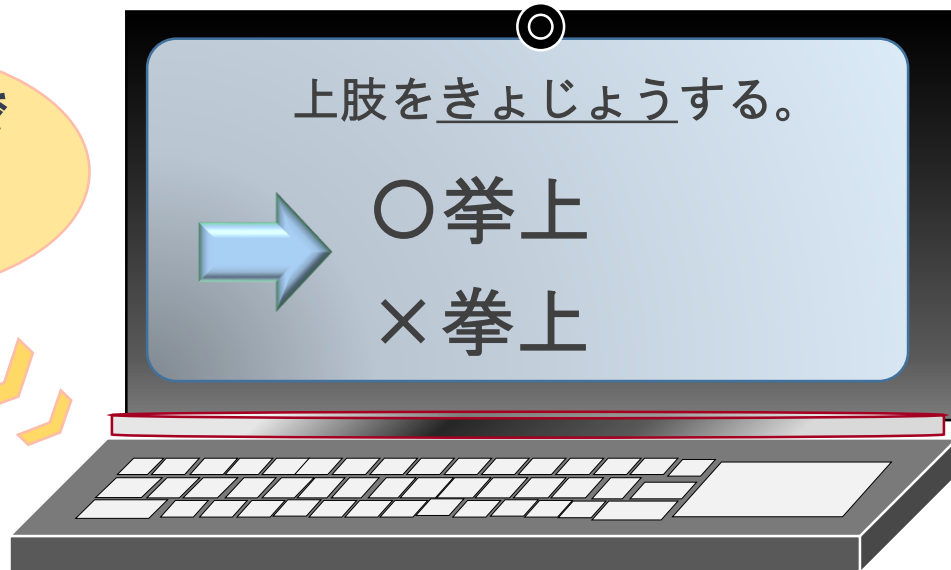
今回のテーマはBPSD関連項目です。裏面に特記事項の記載ポイントを書いています。

～ B P S D 関連項目～

- ・ 社会生活上、場面や目的から見て不適当な行動の頻度
- ・ 一定期間（調査日より過去1か月）でみる
- ・ 実際の対応や介護の手間とは関係なく選択される



特記事項で
誤りやすい
変換 ⑨



認定調査に際してのお願い

認定調査を受託いただき、ありがとうございます。
認定調査（概況調査）に記載されている「家族状況」欄の選択は必須となっています。
忘れずに✓を入れてください。



特記事項には 介護の手間 の記載が重要！

介護の手間 = 対応 × 頻度
具体的な介助の方法

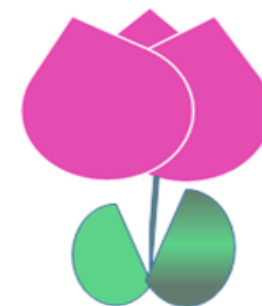
選択肢の選択だけでは、介護の手間は分かりません！

対応にかかった時間が
明記されていると介護
の手間がわかりやすい

- 項目にはない事柄(異食、不潔行為、暴言、暴行など)でも、発生している「対応」「頻度」の記載が重要
- 同じ介護の手間が複数の項目にまたがる場合は、該当する項目をまとめて書くとうわかりやすい

～ひとこと～

認定事務センターで点検をしている職員さんや介護認定審査会事務局の職員さんから「4群の内容が全てまとめて書かれていて**記載内容がどの項目のことを指しているのか(どの項目が「あり」なのか) わからない**」という言葉을時々聞きます。同じ介護の手間の項目はまとめて書いた方がわかりやすいですが、まとめて書く時にも**それぞれの項目の選択内容とそれを選択した根拠がわかるような記載**をしましょう。

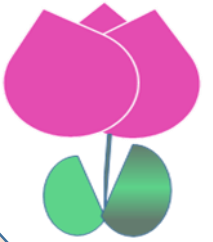
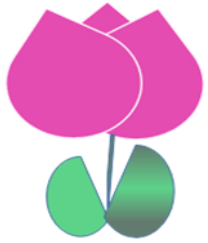


今回のテーマも前回に続きBPSD関連項目です。裏面に事例が載っています。

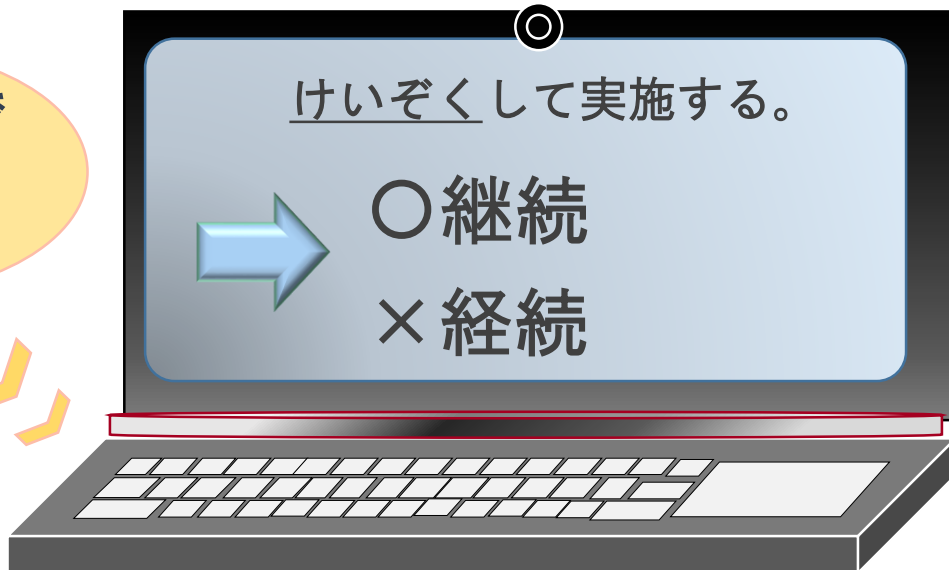
～ B P S D 関連項目～

「選択基準」と「特記事項」の視点は異なります！

- 選択基準＝「行動の有無」と「頻度」
⇒ 実際の対応や介護の手間とは関係なく選択
- 特記事項＝「介護の手間」
⇒ 具体的な介護の手間と頻度



特記事項で
誤りやすい
変換 ⑩



認定調査に際してのお願い

認定調査を受託いただき、ありがとうございます。
認定調査（概況調査）に記載されている「家族状況」欄の選択は必須となっています。
忘れずに✓を入れてください。

BPSD関連項目

2例とも同じ介護の手間の項目をまとめて記載した事例です



① 介護の手間が伴わない事例

(4-5) 同じ話をする
(4-12) ひどい物忘れ
3～5分前に話したことを忘れてしまい、同じことを何度もしつこく言う(週2回)。家族は聞き流している。

② 介護の手間が伴う事例

(4-5) 同じ話をする
(4-12) ひどい物忘れ
夕食後、食堂で過ごしている時に「何時に部屋に帰れるのか」などということを何度もしつこく聞く(5～6回/日)。その都度説明するがすぐ忘れてしまい、何度も聞いてくる。

BPSD関連項目は実際の対応や介護の手間とは関係なく、「**行動の有無**」と「**頻度**」で選択。右の例は、どちらも選択項目は「**あり**」ですが、介護の手間には差があります。

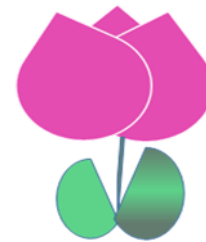
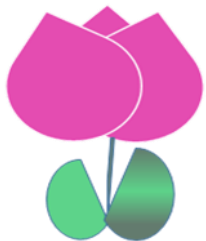
特記事項に「**具体的な介護の手間**」と「**頻度**」を記載することでこの人にかかる**介護の手間**がより分かりやすく伝わります。



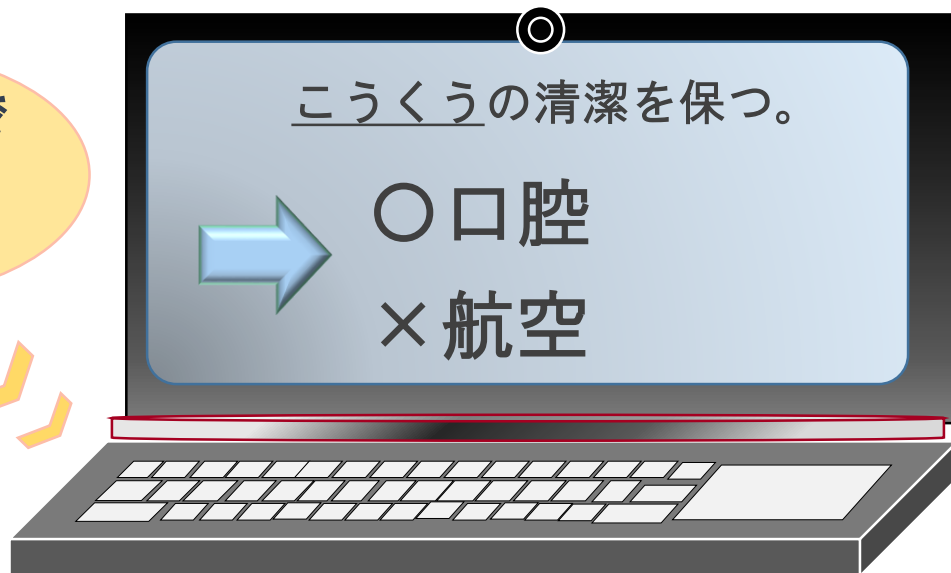
今回のテーマは「買い物」です。

なぜ買い物がテーマなのかというと…

軽度者は、直接介助を必要としない場合が多く間接介助の評価がポイントになりやすくなります。その間接介助が、介護の手間にかかる審査判定で議論になることがあるからです。（詳しくは裏面をご覧ください。）



特記事項で
誤りやすい
変換 ⑪



認定調査に際してのお願い

認定調査を受託いただき、ありがとうございます。
認定調査（概況調査）に記載されている「家族状況」欄の選択は必須となっています。
忘れずに✓を入れてください。

買い物の調査項目では
その人が生活していくため、買い物をどのような状況で行っているか、
その人の状態が分かるような記載が重要です。

他の人に頼んで
買って来てもら
うのかな。

介助者が必要なものを見
繕って買って来るのかな。

一人で買い物に
行って必要なも
のを購入してい
るのかな。

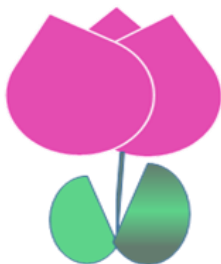


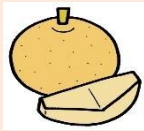
そのため…

特記事項には調査項目の定義「以外」の内容も記載することが重要！

記載内容が選択肢の選択基準に含まれていないことであっても、
介護の手間に関係する内容があれば、特記事項に記載することが重
要です。

「買い物」の基本調査の定義は、日常
生活の限定的な場面を評価しています。
そのため、間接介助の必要性につい
ては、特記事項に記載することで審査会
委員に状況を伝えることができます
(特に軽度者の議論を行う際に有効)。

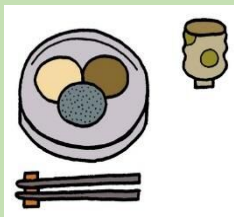




今回のテーマは「簡単な調理」です。

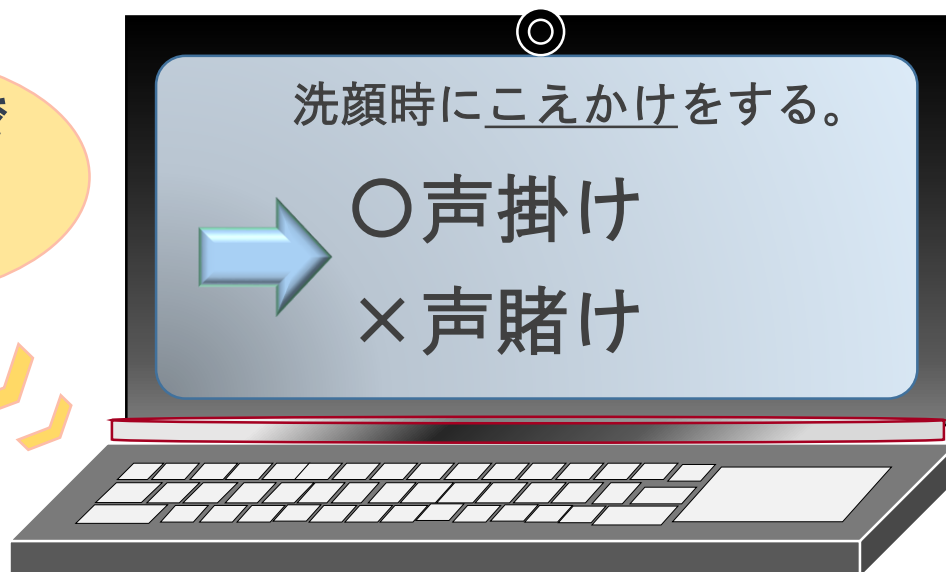


「簡単な調理」では、軽度者の間接介助が評価のポイントとなりやすいのです。



そして、介護の手間にかかる審査判定で、その間接介助が議論になることがあります。（詳しくは裏面をご覧ください。）

特記事項で
誤りやすい
変換 ⑫



認定調査に際してのお願い

認定調査を受託いただき、ありがとうございます。
認定調査（概況調査）に記載されている「家族状況」欄の選択は必須となっています。
忘れずに✓を入れてください。

簡単な調理の調査項目では
調理だけでなく、食事の準備などをどのように行っているかなど、
その人の生活の状态が分かるような記載が大事です。

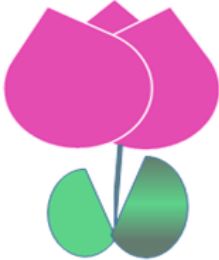
自分でご飯を
炊いて、料理
を作っている
んだね。



施設に入所してい
るから三食とも施
設の職員が準備し
ているんだね

夕食は家族が準備
してくれるけど、
朝食と昼食は自分
で温めて食べてい
るんだね。

記載のポイント



介助が行われている理由が
「能力」か？
「技術的な経験がないため」か？
「習慣」なのか？

「できない」ことだけでなく
「できる」ことも記載する。